

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個21事05

政策名	5 安全な港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	総務部 危機管理室担当課長
基本施策名	07 危機管理機能の強化	事務事業	成果	コスト	連絡先	052-654-7813
個別施策名	21 防災対策を強化する				連携課	海務課
事務事業名	05 防災用資機材の確保	継続	維持	維持	事業期間	昭和38年度～継続
目的	防災用資材の在庫等を点検し、災害時に対応できるよう随時確保していきます。				根拠法令等	名古屋港管理組合防災計画
概要	防災計画に基づき、防災用資材の保管数量及び保管場所の適正化を図るとともに、機材の随時点検を行い、不良な物は更新します。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	防災用資機材の点検を実施します。				関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	平成24年9月に防災資機材の点検を実施しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	0	17	95	97	0	(款項目節) 歳出:総務費/総務管理費/一般管理費/需用費
一般会計	千円	0	17	95	97	0	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	877	858	424	431	436	(その他)
正規職員	人	0.10	0.10	0.05	0.05	0.05	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	877	875	519	528	436	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
防災資材の点検(回)	目標	1	1	1	1	1	1	定期的な点検等を実施します。
	実績	1	1	1	1	1		
	達成率(単年度%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
保管基準量に対する在庫数(個)	目標	6,668	6,668	6,668	6,668	6,668	6,668	油吸着マット 油処理剤
	実績	6,668	6,168	6,168	6,668	6,668		
	達成率(単年度%)	100.0	92.5	92.5	100.0	100.0		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						油流出事故等については、発生が不確定であり、予算要求時期との関係から、補充対応が翌、翌々年度となる場合があります。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	受益者に適正に負担させているか?	<input type="checkbox"/> ○ × <input checked="" type="checkbox"/>						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			常時適正量を確保しておく必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
港湾管理者として防災用資機材の確保は必要のため、適宜補充を行っていきます。				